



投信指数

MAB 300 月次レポート

三菱アセット・ブレインズ株式会社

第28号 2018年10月

MAB 300上昇 米、対中関税は想定内・円安が追い風

MAB 300 11,314円 (前月末比+172円)
2018.9.28

9月のMAB 300指数は、前月末比+172円 (+1.54%) と、月末値ベースで上昇しました。株式市場は、米国では第3弾の対中関税が発動されたものの、当初の税率が10%にとどまったことなどが好感され株価は上昇しました。日本では円安を受けて株価は上昇しました。債券市場は、米国では8月の雇用統計で平均時給が上昇したことから長期金利は上昇しました。日本でも米中貿易摩擦激化の懸念が後退したことから長期金利は上昇しました。為替は、米国の長期金利の上昇や、対中関税が想定内であったことから円売りが進み、対ドル、対ユーロで円安になりました。

カテゴリー別の寄与度では、エマージング株式と国内債券を除いた全てのカテゴリーがプラスに寄与しました。

トピックス

金額加重リターンギャップランキング P.8

9月のMAB 300

月次サマリー	P.2
寄与度 ベスト10 ワースト10	P.3
売れ筋 ベスト10	P.4
パフォーマンス ベスト10	P.4
純資産額増減 ベスト5 ワースト5	P.5
新顔ファンド	P.5
ファンドカテゴリー別 パフォーマンス	P.6

新顔ファンド紹介

初めてMAB 300に入った新顔ファンドの中から注目ファンドを紹介します。 P.7
ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(クアトロ)

トピックス

金額加重リターン ギャップランキング P.8

MAB 300は我が国を代表する公募追加型株式投資信託(純資産額上位300銘柄)を選定し、分配金再投資基準価額を単純平均した指数です。1997年3月31日の値から算出しています。

9月のMAB 300 月次サマリー



MAB 300

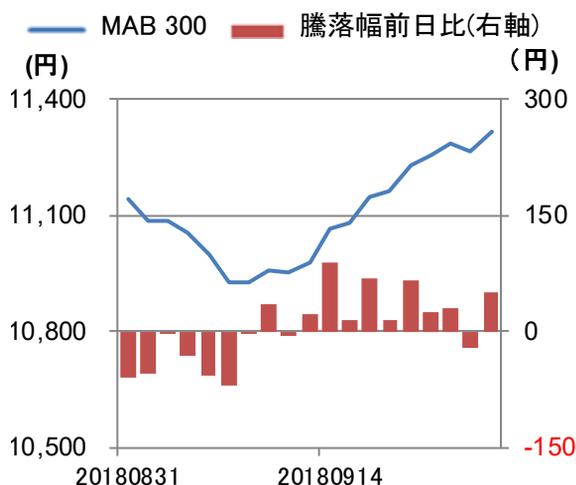
基準日：2018年9月28日

1. 指数

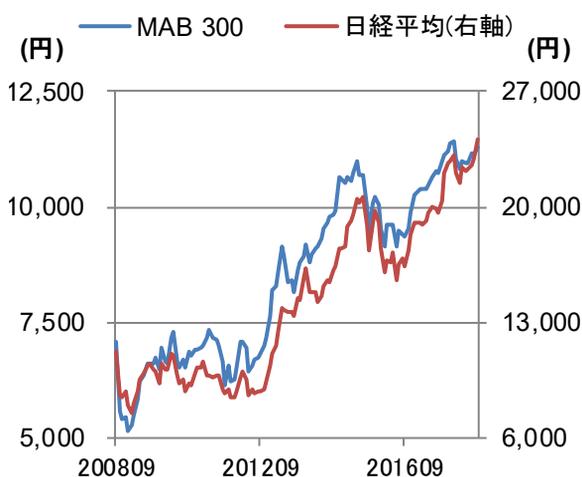
今月末			前月末比		月間騰落率
11,314円			+172円		+1.54%
前月末	年初来高値	年初来安値	純資産総額	前月末比	月間ネット 資金流出入額
11,143円	11,654円 (2018/1/23)	10,600円 (2018/3/26)	406,371億円	+2,903億円	+248億円

2. 推移

○2018年9月



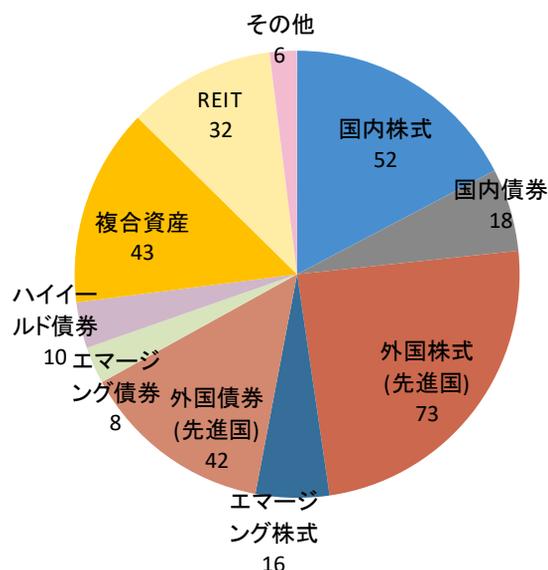
○直近10年



3. カテゴリー別 寄与度ランキング

カテゴリー	寄与度(円)
国内株式	+103.4
外国株式(先進国)	+32.2
複合資産	+20.3
ハイールド債券	+13.9
外国債券(先進国)	+11.9
エマージング債券	+8.8
REIT	+7.3
その他	+4.4
国内債券	-1.1
エマージング株式	-29.1
合計	+171.9

4. カテゴリー別 構成ファンド本数



※月末リバランス後



基準日：2018年9月28日

5. 寄与度 ベスト10 ワースト10

上位

順位	ファンド名	運用会社名	騰落率 (%)※	寄与度 (円)
1	スパークス・新・国際優良日本株ファンド(厳選投資)	スパークス・アセット・マネジメント	+7.18	+6.04
2	ブル3倍日本株ポートフォリオV	大和証券投資信託委託	+19.55	+4.40
3	野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	+8.23	+4.27
4	トヨタグループ株式ファンド	三井住友アセットマネジメント	+7.05	+4.22
5	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀投信投資顧問	+10.75	+3.99
6	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	三菱UFJ国際投信	+8.61	+3.44
7	ニッセイ日経225インデックスファンド	ニッセイアセットマネジメント	+6.17	+3.33
8	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(トルコリラコース)	アムンディ・ジャパン	+15.79	+3.29
9	ひふみ投信	レオス・キャピタルワークス	+2.92	+3.16
10	DIAM国内株式インデックスファンド<DC年金>	アセットマネジメントOne	+5.55	+3.16

下位

順位	ファンド名	運用会社名	騰落率 (%)※	寄与度 (円)
1	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	-8.74	-6.67
2	高成長インド・中型株式ファンド	三井住友アセットマネジメント	-10.58	-6.46
3	ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・印度・フォーカス)	野村アセットマネジメント	-9.87	-5.45
4	HSBCインドオープン	HSBC投信	-7.73	-4.14
5	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング・インベストメンツ	-5.98	-4.01
6	JPMザ・ジャパン	JPモルガン・アセット・マネジメント	-2.09	-2.91
7	高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	三井住友アセットマネジメント	-10.57	-2.09
8	ダイワノミレーアセット・インド株式ファンドーインドの匠ー	大和証券投資信託委託	-9.56	-1.79
9	グローバルAIファンド(為替ヘッジあり)	三井住友アセットマネジメント	-3.11	-0.94
10	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープンAコース	野村アセットマネジメント	-1.25	-0.92

※分配金再投資基準価額の騰落率を表しています。



基準日：2018年9月28日

6. 売れ筋 ベスト10

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	月間ネット流入額 (百万円)※
1	日興FW・日本債券ファンド	三井住友アセットマネジメント	国内債券	+83,209
2	netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	外国株式(先進国)	+31,255
3	フューチャー・バイオテック	三井住友アセットマネジメント	外国株式(先進国)	+30,711
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	外国株式(先進国)	+25,944
5	グローバル・ハイクオリティ成長株投資ファンド(年2回決算型)(為替ヘッジなし)(未来の世界(年2回決算型))	アセットマネジメントOne	外国株式(先進国)	+16,623
6	次世代通信関連世界株式戦略ファンド(THE 5G)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	外国株式(先進国)	+13,371
7	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)(円奏会)	東京海上アセットマネジメント	複合資産	+12,446
8	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	外国株式(先進国)	+11,286
9	国内株式SMTBセレクション(SMA専用)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	国内株式	+11,077
10	ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし)	大和証券投資信託委託	外国株式(先進国)	+9,973

※月間ネット流入額は三菱アセット・ブレインズの推計値です。

7. パフォーマンス ベスト10

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	月間騰落率 (%)
1	ブル3倍日本株ポートフォリオV	大和証券投資信託委託	その他	+19.55
2	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(トルコリラコース)	アムンディ・ジャパン	ハイイールド債券	+15.79
3	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀投信投資顧問	国内株式	+10.75
4	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	三菱UFJ国際投信	エマージング債券	+8.61
5	野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村アセットマネジメント	国内株式	+8.23
6	野村日本企業価値向上オープン(米ドル投資型)	野村アセットマネジメント	国内株式	+8.17
7	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和証券投資信託委託	エマージング債券	+7.95
8	日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀投信投資顧問	国内株式	+7.77
9	通貨選択型Jリート・ファンド(毎月分配型)ブラジルリアルコース	アセットマネジメントOne	REIT	+7.70
10	スパークス・新・国際優良日本株ファンド(厳選投資)	スパークス・アセット・マネジメント	国内株式	+7.18
-	MAB 300	-	-	+1.54



基準日：2018年9月28日

8. 純資産額増減 ベスト5 ワースト5

■増加

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	純資産額 (百万円)	前月比 (百万円)
1	日興FW・日本債券ファンド	三井住友アセットマネジメント	国内債券	223,151	+83,113
2	netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	外国株式(先進国)	237,553	+35,465
3	フューチャー・バイオテック	三井住友アセットマネジメント	外国株式(先進国)	152,780	+32,648
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	外国株式(先進国)	250,246	+28,534
5	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	国内株式	662,609	+22,547

■減少

順位	ファンド名	運用会社名	カテゴリー	純資産額 (百万円)	前月比 (百万円)
1	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	エマージング株式	443,381	-45,513
2	新光US-REITオープン(ゼウス)	アセットマネジメントOne	REIT	660,365	-31,437
3	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	フィデリティ投信	REIT	697,289	-29,669
4	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	REIT	559,236	-24,555
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	大和証券投資信託委託	REIT	567,910	-23,104

9. 新顔ファンド

ファンド名	運用会社名	カテゴリー	純資産額 (百万円)
ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(クアトロ)	ピクテ投信投資顧問	複合資産	49,904



- 累積リターン（1か月）の最上位カテゴリーは国内株式でした。1ドル113円台と約9か月ぶりの水準まで円安が進んだことが好感され株価が上昇したことが寄与しました。
- 累積リターン（1か月）の最下位カテゴリーはエマージング株式でした。インドの金融機関がデフォルトしたことにより、同国に投資するファンドの基準価額が下落したことが影響しました。

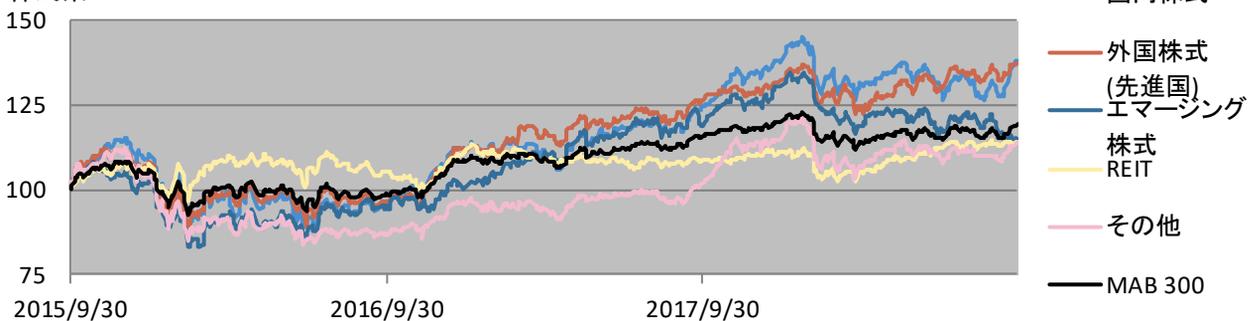
1. リターン&リスク&シャープレシオ

ファンドカテゴリー別 MAB 300	累積リターン (%)				年率リスク (%)			シャープレシオ			運用管理 費用(%)
	1か月	1年	3年	5年	1年	3年	5年	1年	3年	5年	
国内株式	4.64	10.52	37.95	59.29	9.31	14.21	14.32	1.14	0.89	0.83	1.21
国内債券	-0.23	-0.28	2.27	5.60	0.80	1.69	1.47	-0.29	0.47	0.76	0.30
外国株式(先進国)	1.13	8.71	37.50	51.94	7.67	13.06	13.42	1.14	0.96	0.77	1.59
エマージング株式	-4.86	-3.38	14.92	32.87	13.02	15.09	14.94	-0.26	0.33	0.44	1.89
外国債券(先進国)	0.88	-3.37	-0.48	7.12	4.06	5.95	6.20	-0.82	-0.02	0.23	1.16
エマージング債券	3.43	-13.30	17.40	8.72	10.63	11.00	11.57	-1.25	0.53	0.15	1.52
ハイイールド債券	2.98	-6.13	17.84	19.43	7.02	9.73	9.93	-0.87	0.61	0.39	1.62
複合資産	1.54	3.22	12.48	30.87	4.23	6.44	7.13	0.77	0.65	0.86	1.11
REIT	0.50	5.32	14.39	41.98	6.21	8.08	9.09	0.86	0.60	0.92	1.26
その他	3.74	12.03	14.22	48.28	12.09	13.39	21.32	1.00	0.36	0.45	1.38
MAB 300	1.54	3.07	19.19	31.26	5.41	8.55	8.92	0.58	0.75	0.70	1.29

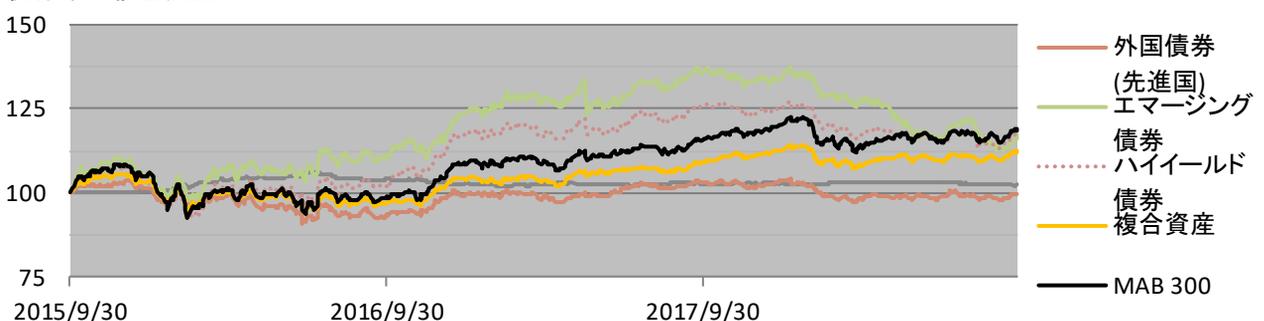
●運用管理費用はカテゴリー別MAB 300の構成ファンドの平均値です。

2. カテゴリー別指数の推移 (3年前 = 100)

株式系



債券系+複合資産



●ファンドカテゴリー別MAB 300は、MAB 300構成ファンドについて、カテゴリー別にMAB 300と同様の方法により算出した指数です。



- ▶ オルタナティブ戦略を含む様々なアセット・クラス（資産種別）に分散投資します。
- ▶ リスクオン・オフの市場環境を判断して資産配分を機動的に変更します。
- ▶ 上記の運用戦略により、下落リスクを低減しつつ中期的に安定した収益を獲得する「負けない運用」を目指すファンドです。

運用会社	ピクテ投信投資顧問		
主な販社	マネックス証券、SMBC日興証券、東洋証券 他		
カテゴリー	複合資産		
為替ヘッジ	なし	アクティブ/パッシブ	アクティブ
純資産額	49,904 百万円	実質的な運用管理費用	2.0%程度+成功報酬
基準価額	10,832 円	分配金再投資基準価額	10,832 円
設定日	2013/12/12		

1. ファンドの概要

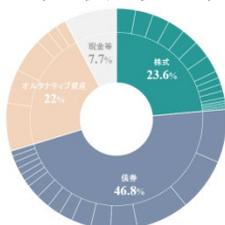
当ファンドは、債券投資の代替運用を標榜し、複数資産に分散投資しつつ資産配分を機動的に変更することで、相場の急落やインフレに負けない運用を目指すファンドです。現在の目標リターンは日銀の掲げる物価上昇率と同程度の2%（年率）を目安にしています。当ファンドは実質的にはファンド・オブ・ファンズ形式で運用されており、2018年8月31日現在は、世界の株式、債券、オルタナティブ（代替投資）等に投資する27本のファンドが組み入れられています。配分比率の変更は、豊富な運用経験を持つ専門チームが運用戦略決定会議による主要資産の5年先収益見通しなどに基づいて決定しています。

2. ファンドが活用するリスク低減の手法

- 分散投資：値動きの傾向が異なる、相関の低い資産を組合わせたポートフォリオを構築することで、分散投資によるリスク低減効果を高めています。
- オルタナティブ（代替）戦略：上場株式や債券などの伝統的資産以外にゴールド、ロング・ショート戦略※などへ投資を行います。一般的にオルタナティブ投資は市場変動に左右されにくいだけでなく、伝統的資産との相関が低いとされます。
※株式や債券で割安と判断される銘柄を買建て、割高と判断される銘柄を売建てる投資手法
- リスク・バジェットティング：資産間の相関や各資産のリスク（標準偏差）の大きさに着目して、市場環境に応じてリスク量を適切に配分するリスク・バジェットティングの手法を活用します。市場がリスク選好的な局面（リスクオン）では成長性資産と考える株式への配分を厚くし、リスク回避的な局面（リスクオフ）では保全資産と考える債券への配分を厚くします。オルタナティブ資産については、両局面で一定程度の配分を維持します。
- ヘッジポジション：市場急落時には、株価指数先物の売建てやVIX（ボラティリティ・インデックス）先物の買建てによりファンド資産の下落リスクを軽減するヘッジポジションを構築します。

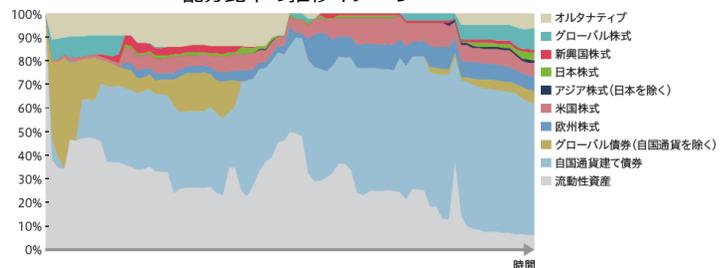
3. ファンドの資産配分と機動的配分イメージ

ポートフォリオの組入状況（2018年5月末現在）



ピクテ投信投資顧問HPおよびファンド目論見書より抜粋

配分比率の推移イメージ



なお、当ファンドの実質的な運用管理費用（税込）は年率2.00%程度+指定投資信託証券の成功報酬となっています。資産配分を機動的に変更する類似ファンド（101本）の運用管理費用の平均値は約1.53%ですので、リスク低減に工夫が凝らされている代わりにコスト水準は高いといえます。

※当ファンドの詳細については、ピクテ投信投資顧問のHPをご参照下さい。

<https://www.pictet.co.jp/Individual/FundInfo/FundList/quattro>



▶ 金額加重リターン（ギャップ）とは
 保有期間や購入・売却タイミングの違いから、同一ファンドの投資家であっても各々が享受しているリターンは異なります。トータルリターンがファンドの運用力を表すのに対して、金額加重リターンは各々の投資家が享受したリターンの平均水準を表しています。金額加重リターンとトータルリターンとの差（ギャップ）を検証することで、後追いの投資行動が発生していたかどうか、などを推察する参照指標として活用できます。

上位				年率(3年)(%)		
順位	ファンド名	販売会社名 ^{※1}	カテゴリー	金額加重リターン	トータルリターン	金額加重リターンギャップ ^{※2}
1	ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズーブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	大和証券	外国株式(先進国)	+26.41	+17.43	+8.99
2	三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 他	エマージング債券	+19.14	+12.92	+6.22
3	野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村証券	国内株式	+26.09	+20.26	+5.83
4	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	みずほ銀行、みずほ証券、三井住友銀行 他	エマージング債券	+16.92	+11.45	+5.47
5	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープンBコース	野村証券	外国株式(先進国)	+7.68	+2.36	+5.32
6	netWINゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、りそな銀行 他	外国株式(先進国)	+27.22	+22.00	+5.21
7	キャピタル世界株式ファンド	みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行、野村証券 他	外国株式(先進国)	+16.90	+11.70	+5.20
8	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	新生銀行、ひろぎん証券、香川証券 他	国内株式	+19.11	+14.13	+4.98
9	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(トルコリラコース)	りそな銀行、埼玉りそな銀行、野村証券 他	ハイイールド債券	-5.40	-8.77	+3.37
10	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープンAコース	野村証券	外国株式(先進国)	+6.74	+3.37	+3.36
下位				年率(3年)(%)		
順位	ファンド名	販売会社名 ^{※1}	カテゴリー	金額加重リターン	トータルリターン	金額加重リターンギャップ ^{※2}
1	SBI中小型割安成長株ファンドジェイリパイブ(年2回決算型)(jrevive II)	SBI証券、高木証券、マネックス証券 他	国内株式	+3.21	+21.37	-18.15
2	通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配型)	クレディ・スイス証券、大和証券、SBI証券 他	REIT	-4.55	+11.07	-15.62
3	通貨選択型Jリート・ファンド(毎月分配型)ブラジルリアルコース	新生銀行、大和証券、池田泉州TT証券 他	REIT	+0.61	+12.16	-11.55
4	高成長インド・中型株式ファンド	岡三証券、東洋証券、ひろぎん証券 他	エマージング株式	-6.10	+5.02	-11.11
5	ジャパン・エクセレント	あおぞら銀行、日の出証券、滋賀銀行 他	国内株式	+8.98	+16.38	-7.40
6	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)(ラッキー・カントリー)	あおぞら銀行、三菱UFJ信託銀行、内藤証券 他	外国株式(先進国)	+1.76	+7.63	-5.87
7	ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・インド・フォーカス)	野村証券	エマージング株式	+2.78	+8.50	-5.72
8	女性活躍応援ファンド(椿)	四国アライアンス証券、伊予銀行、東北銀行 他	国内株式	+24.59	+30.03	-5.44
9	中華圏株式ファンド(毎月分配型)(チャイワン)	SBI証券、岡三証券、高木証券 他	エマージング株式	-1.42	+3.73	-5.15
10	野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	野村証券、四国アライアンス証券 他	外国株式(先進国)	+11.67	+16.42	-4.75

●※1 「販売会社名」は有価証券届出書等をもとに記載しています。現在はファンドを取り扱っていない場合があります。

●※2 「金額加重リターンギャップ」は金額加重リターンからトータルリターンを引いた値です。



- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社（以下、MAB）に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- 日経平均に関する著作権、知的財産権等一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
- MAB 投信指数「MAB 300」（以下、本指数）に関する著作権、知的財産権等一切の権利はMABに帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社
コンサルティンググループ 青木・奥村

電話番号 : 03-6721-1033

Eメール : mab-index@mab.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

URL : <http://www.mab.jp/mab-index/>

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1085号 助言・代理業、投資運用業
加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会